

平成31年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	04	01	01	144010	水道未普及地域対策事業費		
総合計画	分野	02 暮らし		政策	02 生活基盤の充実		
	施策	05 安全な水の安定的供給					
目的	水道未普及地域において安全な生活用水を確保するため、浄水施設等の設置に対して補助を行う。						
対象	市内水道未普及地域に居住し生活用水の確保が困難な方						
意図	安全で安定した生活用水の確保を図る						
事業概要	水質検査 R1 0千円						
	現状の水質を検査						
	浄水施設設置補助 R1 9,930千円						
	対象施設工事費の9割（限度額270万円）を補助						
制度の効果的な住民周知							
市民参画の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛		
		補助・助成			委託		
活動指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	浄水器等設置	基	計画		15.00	4.00	
			実績		16.00	7.00	
2	水質検査	箇所	計画		4.00	4.00	
			実績		1.00	0.00	
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	浄水施設等設置率	%	目標		48.00	59.00	
			実績		49.00	56.30	
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
平成29年度に実施した当該補助金制度を利用した浄水施設の導入に関するアンケート調査及び戸別訪問により聞き取り調査を実施し、令和元年度に設置を希望していた7世帯が今年度予定どおり実施した。平成30年度から成果指標の目標値を変更しており、平成29年度に実施したアンケート調査において希望した96世帯に対する浄水施設等の設置世帯数の割合とした。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	未普及地域における市民の文化的生活の観点から、生活用水確保の支援・対策が必要である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	戸別訪問により、対象者への簡易浄水器システムや本制度の説明を行い、制度の効率的な利用促進を図る。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	浄水施設の安価で効率的な製品の検討、設置場所の選定、複数世帯による共同設置等により、事業費の軽減を図る。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	水道未普及地域を対象としている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	適正である	
総合評価	今年度の振り返り	平成29年度に実施した本補助金制度の利用意向アンケート及び戸別訪問において希望した世帯に対し、補助金制度を案内・説明し予定どおり実施した。
	次年度に向けて	本補助金制度について住民周知を図っているが、各家庭の諸事情や生活条件等さまざまな状況から、短期スパンでの実施には難しい課題がある。今後も戸別訪問やアンケートを実施し、周知活動の継続していく必要がある。